

絵画修復概論 (講演要旨) (2019年2月12日)

1. 絵画修復のやり方は絵画の種類によって異なる。
絵画の種類は顔料を載せる支持体（キャンバスや紙等）とそれを固着する接着剤（油やにかわ等）の種類によって分類される。
接着剤の種類別に見ると
油彩画—亜麻仁油、けし油、等
テンペラ画—卵（黄身）
水彩画—アラビアゴム
日本画—にかわ
フレスコ画—消石灰と水
2. 油彩画の特徴
他の絵具と比べ油絵具だけが持つ特性。
他の絵具は接着剤内の水分が蒸発して顔料を固着する。（短時間）
油絵具は顔料を閉じ込めている油分が空気中の酸素と化合して固まる。（長時間）
3. 油彩画の構造
4. 油彩画の修復には油絵具を使用しない。
なぜ油絵具を使ったらいけないのか。
5. 現代の修復における考え方は、可逆性のある修復材料を使用することが基本となっている。
6. 絵画修復は大きく分けて保存修復と美的修復に分かれる。

保存修復—作品を出来るだけ長く後世に残す為の処置
美的修復—作者の表現を出来るだけ正確に鑑賞者に伝える処置
7. 保存修復にはどんなやり方があるか
 1. VELINATURA（表面保護）表打ち
 2. FERMATURA（地塗りや絵の具層の固着）剥離止め
 3. RINTELATURA（キャンバスの補強）裏打ち
 - ①フィレンツェ方式
 - ②オランダ方式
 - ③合成樹脂による方式
 - ④混合方式

8. 美的修復にはどんなやり方があるか。

1. PULITURA (汚れの除去)
2. STUCCATURA (欠損部への充填)
 - ① にかわ+ジェッソを使用
 - ② ワックス+ジェッソを使用
3. RITOCOCO-1 (補彩の技法)
 - ①水性絵具 (グアッシュ、水彩絵具)
 - ②樹脂絵具
4. RITOCOCO-2 (補彩の描法)
 - ① mimetico (模倣)
 - ② selezione (線描法)
 - ③ astrazione (抽象画法)
5. VERNICIATURA (ワニス塗布).

9. どの時点にまで遡って修復すればよいか。

- ① 顔料や展色材は経年変化する
- ② 色によって変化の度合いが違う
- ③ 膠や油の変化により発色効果が変わる

したがって Patina (古色) を適度にコントロールして、あるところを取り
あるところを残して色調の比率が同じようになるように修復する。

10. 日本における絵画修復の特殊性

- ① 西洋画の技法は120年程前に西洋から日本に伝わって来たもので歴史は短い。
- ②日本の油画の表現主義
- ③日本人は宗教画や絵物語りを好まない。
- ④自然を切り取った風景画や静物画が好まれる。
- ⑤ 日本人はマチエールを大切にする。
あまりワニスをかけない。光沢を好まない。
- ⑥初期の作品は現在の技法とはかなり違っていた。
- ⑦ 芸術的な衝動を大切にすあまり科学的技法を軽んじる傾向にあった。
- ⑧ 戦後の新しい素材について十分な知識を持たなかった。
- ⑨ 精神的背景に仏教や中国の哲学がかかわりを持つ。
- ⑩ 環境。建物、気象条件。
- ⑪ 油彩画修復の初期の傾向。

1 1. 修復と復元の違い

オリジナルの部分が残っている場合は修復である。

オリジナルはすべて無くなっている場合でも、確かな記録や研究調査が残っている場合はもとの姿に復元する。

1 2. 贋作について

Copia — 模写

Imitazione — 原作者の弟子などが描いた表現が酷似する作品

Falsificazione — 意図的に原作者を真似て描いた作品